




# 2022 年度 環境保全活動報告

2023 年 4 月 1 日

日本ガス(株)鹿児島工場

| 目的               | 実施項目及び達成状況   |
|------------------|--|
| エネルギーの有効利用       | <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 70%;"> <p>1. 省エネ施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家使用量(電気・ガス・燃料油等)の削減 …3ヶ年の累計削減量目標: 34.7kL(原油換算量)</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2022 年度の削減量 <b>5.5kL</b> (累計 CO2 排出量 <b>2,146 t</b>)</p> <p>3ヶ年累計削減量 <b>50.5kL</b>(累計 CO2 排出量 <b>6,802 t</b>)</p> </div> <p>・原油換算量の算出方法 =</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <math display="block">\frac{\text{電力使用量、ガス使用量、油類使用量を熱量換算した量 [GJ]}}{\text{原油換算係数(原油 1kL 当たりの熱量) [GJ/kL]}}</math> </div> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #ffc107; padding: 5px; font-size: 8px;">7 エネルギーをみんなに<br/>そしてクリーンに</div> <div style="background-color: #ffc107; padding: 5px; font-size: 8px;">9 産業と地域活動の<br/>連携をつなぐ</div> </div>  </div> </div> <p>＜今年度及び 2020～2022 年度まで 3 年間のエネルギー削減状況の総括＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は 2020 年度より制定した 3 ヶ年目標の最終年となるが、GHP 更新や熱調設備の温度制御自動化の効果から、自家ガス使用量については対目標比 3.9%の削減となり、3ヶ年累計で約 14%削減することができた。</li> <li>・(動力)電力使用量については、近年様々な産地の LNG をあらゆる LNG 船を用いて受入していることから、BOG の発生量が増えることがあり、BOG 圧縮機の稼働負荷が大きくなることによる電力使用量増加もあったが、LNG 貯槽の運用圧力見直しや、LNG ローリー車への積込作業や気象条件を加味したこまめな負荷調整により、2017～2019 年度の 3 年間と 2020～2022 年度の 3 年間を比較して、1%程度の増加に留めた。</li> <li>・照明電力使用量については、今年度までで工場内常用照明のほぼ全てを水銀灯・セラメタ灯・蛍光灯から LED 灯へ切替完了し、切替以前と比較して年間約 40,000kWh の電力使用量を削減することができた。</li> </ul> |
| 再エネ等未来志向エネルギーの供給 | <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 70%;"> <p>1. 鹿児島市南部清掃工場バイオガス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四半期に 1 回、定例会議を実施。両者の業務形態及び体制、定期整備、計画停電等の情報共有、台風時の対応などについて協議した。</li> <li>・9/21 に合同訓練を実施。休日昼間に何らかの原因でバイオガス緊急遮断弁が閉止し操作不能となったと想定して、南部清掃工場側との電話連絡訓練や、工場内設備の現場確認及びモニター監視を実施。南部清掃工場側との連携強化に寄与した。</li> </ul> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #ffc107; padding: 5px; font-size: 8px;">7 エネルギーをみんなに<br/>そしてクリーンに</div> <div style="background-color: #ffc107; padding: 5px; font-size: 8px;">9 産業と地域活動の<br/>連携をつなぐ</div> </div>  </div> </div> <p>2. 脱炭素エネルギー取扱い技術研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CCR 研究会主催で行われたメタネーション技術実証実験見学会に参加、合成メタンの製造フローについて学習済み。</li> <li>・合成メタン製造現場見学の内容を、鹿児島市及び鹿児島大学と情報共有。</li> <li>・バイオガスの環境価値について、本社にて CCR 研究会参加事業者に対して講演を実施済み。</li> </ul>  |

| 目的  | 実施項目及び達成状況   |   |
|---|--|---|
| 環境汚染等の防止  | <p>1. 水質・大気汚染等の防止 ……油脂類漏洩・流出、付臭剤流出・漏洩、不良品質ガス送出 <u>0件</u></p> <p>①油脂類漏洩緊急処置訓練実施 → 対象者:従業員、構内保全業者、警備業者 合計 27名<br/>想定:静置中のLNGローリー車より軽油が漏洩し雨水により、海上へ流出。(10/5実施)</p>  <p>油漏洩元(車両)への一次処置</p>  <p>第一堰板(西側)設置</p>  <p>簡易オイルフェンス設置作業</p> <p>②付臭剤漏洩、不良品質ガス送出緊急処置訓練実施 → 対象者:従業員、構内保全業者 合計 27名<br/>付臭剤漏洩による、不良品質ガス送出の恐れがある場合を想定し実施。(11/8実施)<br/>付臭剤添加ユニット使用方法の確認</p>  <p>付臭剤ライン漏えい箇所修理</p>  <p>ガスホルダー下オドロメータ接続</p>  <p>付臭剤添加ユニット搬出・設置</p> |    |
|   | <p>2. LNG 低温検知装置、耐冷服を用いた訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/12に低温検知装置作動訓練実施済み。</li> <li>・耐冷服装着マニュアル作成について新規済み。</li> </ul>  <p>低温検知装置(測温抵抗体)</p>  <p>耐冷服装着状態</p>   |   |
|   | <p>3. 構内緑化活動</p> <p>事務所棟入口へのプランター整備、国旗掲揚台前花壇の整備、構内樹木の剪定等による既存緑地の整備</p>   |    |
| 地域貢献活動  | <p>1. 一般施設見学者受入</p> <p>①一般見学者募集 ……年間 200 名以上<br/>→新型コロナウイルス感染拡大防止のため工場見学は受入見送った。</p> <p>②環境活動パフォーマンス情報発信の整備<br/>・鹿児島工場の環境活動(門前清掃等)について、定期的に Facebook を利用して情報発信を実施。</p>   |   |
|   | <p>2. 門前清掃の実施 …… 3 ヵ年 300 名以上<br/>→6/8、9/21、12/8、3/9: 計 103 名 参加 (3 ヵ年累計: 300 名参加)</p>   |   |
|   | <p>3. エコキャップ活動 …… 年間 15,480 個以上回収<br/>→従業員や構内工事業者への協力の依頼実施し、<br/>年間合計 19,612 個(3 ヵ年累計: 65,601 個 76 ワクチン分)を回収した。</p>  |   |
| 活動 その他  | <p>・メガソーラ発電<br/>→売電電力量 年間累計 1,121,374kWh(年間約 537tの CO2 を削減)</p>  |   |
|  |  |   |